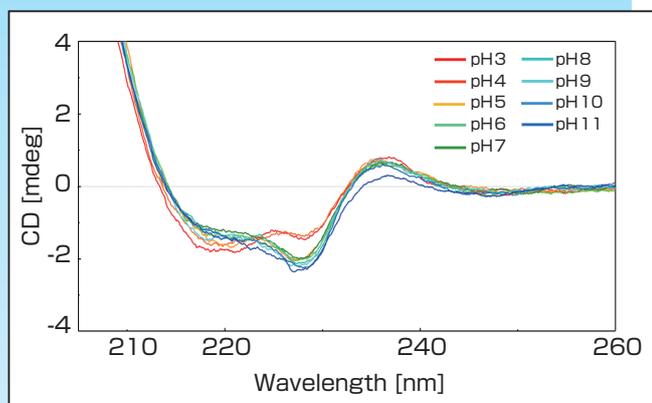


分光分析によるタンパク質構造評価

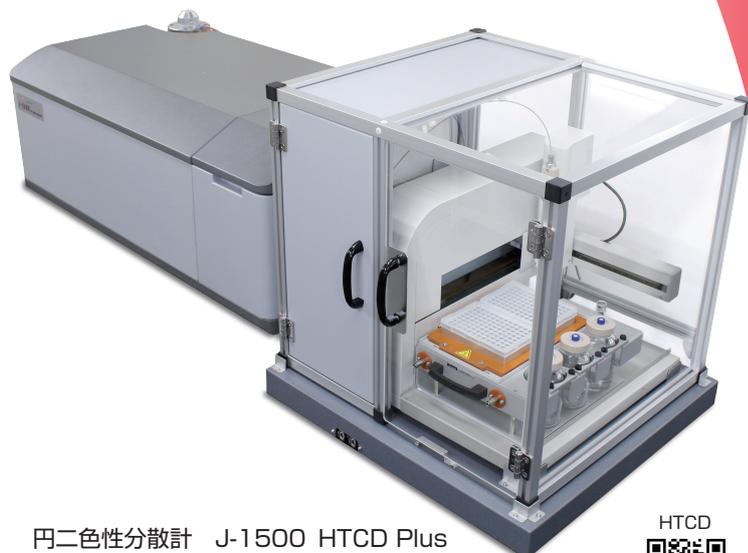
日本分光は従来から広く活用されている分光分析手法とユーザーフレンドリーなソフトウェアと幅広いアクセサリーラインナップを組合わせたアプリケーションでタンパク質研究分野へ貢献します。

多検体測定 (ハイスループットCD)

HTCD Plusシステムは、試料の入換測定・流路の洗浄を全自動で行い一度に最大192検体の測定ができます。pHや塩濃度を变化させた多種の溶媒条件下でのタンパク質の構造評価などを行うときに最適な測定システムです。



pH変化に伴うVHH抗体のCDスペクトルの変化 (NaCl濃度 200mM)



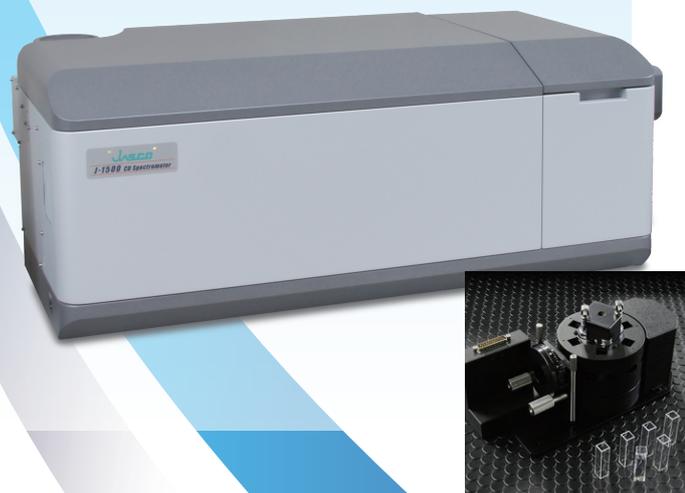
円二色性分散計 J-1500 HTCD Plus

HTCD

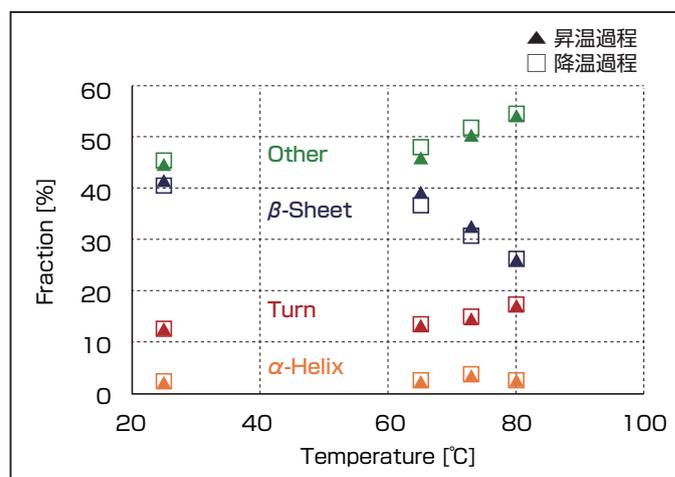


熱変性測定 (CD)

温度制御が可能な水冷ペルチエ6連ターレットセルチェンジャを使用して、温度を变化させながら複数のタンパク質試料のCDスペクトルを測定することができます。さらに熱変性解析プログラムを使用して変性温度を評価することができます。



円二色性分散計 J-1500 水冷ペルチエ6連ターレットセルチェンジャ



昇温過程と降温過程での抗体の二次構造変化を追跡

抗体医薬

